

CBI 若手の会

21世紀若手研究者のサバイバル術を伝授！

会期：2001年7月24日(火) 13時30分-20時

会場：東京 こまばエミナース-富士の間- (東京都目黒区大橋 2-19-5)

実行委員長：養王田 正文 (東京農工大)

開催の趣旨

21世紀は人類にとって大きな変革の世紀となるであろう。例えば、ヒトゲノム解析終了後の生命科学とバイオテクノロジーの変革は、医療や創薬といった分野ばかりでなく、工学から社会、経済までも変えつつある。わが国がこの変革の大波を乗り越えて生き延びていけるか否かは、科学技術の荷い手である有能な若手研究者の数に依存している。残念ながら、我が国の旧来の教育・研究システムの枠の中では、この変革に対応できる若手研究者を組織的に育成することは不可能である。事実、1月15日付けの日経新聞の紙面で、日本の潜在競争力は世界16位であると報道された。現在、大学院の重点化やポストク1万人計画などにより生命科学を担う若手研究者の数は著しく増加しているが、旧来の教育・研究方法を踏襲していたのでは、新しい産業を作り発展させる人材の輩出が望めないどころか、むしろ高学歴失業者の増産につながるという危険性さえはらんでいる。今こそわが国の産業のニーズにあった人材の育成が急務である。

▶ プログラム内容

招待講演会 ・ パネルディスカッション ・ 自由討論

▶ 講演者 (5月1日現在)

- ・石川 智久 (東工大 生命理工学 教授)
「ゲノム創薬時代の戦略と人材育成」
- ・河合 隆利 (エーザイ(株)シーズ研究所 主幹研究員)
- ・増田 優 (経済産業省 製造産業局 局次長)
「知の世界」の拡大と若手プロフェッショナル (知的職業人) への期待
研究者・教育者・技術者とは何か??そして日本の工学は生き残れるか?1?1?
- ・清水 勇 (東工大 フロンティア創造センター教授)
「日本の国立大学における技術移転事業の問題点と解決法」
- ・田島 秀二 (プレジジョン・システム・サイエンス社 社長)

▶ 参加費：無料

(翌日開催の大会の学生事前登録費は2,000円です。7/13までに是非お申し込み下さい。)

募集要項等は WWW (<http://www.cbi.or.jp/>) をご覧ください。

申込先：〒158-0097 世田谷区用賀 4-3-16 CBI学会 大会事務局

TEL: 03-5491-5423 FAX: 03-5491-5462 E-mail: cbistaff@cbi.or.jp